

2019年4月1日

関係各位

乳の学術連合運営委員会  
一般社団法人Jミルク

## 乳の学術連合・学術研究集会開催のご案内

**乳の学術連合「最新ミルクの研究」を发表  
ジャパンミルクコンGRESS 2019**

日時：6月1日（土）10:45～17:00（受付10:00～）

会場：東京大学・伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール

乳の学術連合（折茂 肇 委員長）と一般社団法人Jミルク（西尾 啓治 会長）では、6月1日（土）に東京大学・伊藤国際学術研究センターで、共催による乳の学術連合における最新知見や研究成果を发表する学術研究集会「ジャパンミルクコンGRESS（JAPAN MILK CONGRESS）2019」を開催させていただきます。「乳の学術連合」では、乳の健康栄養面の価値解明や社会・文化的な意義の解明、乳の価値や意義を人々に伝えるための食育等、多様な研究活動を行っており、その研究成果を酪農乳業関係者の皆様に发表させていただきます。最新の乳の学術連合における最新の研究成果を口頭6題、ポスター17題で发表させていただきます。また、今後、乳の価値を考える際に国内外の栄養問題についての最新情報を特別講演により情報提供させていただきます。

つきましては、多くの乳に関わる関係者の皆様に、乳の学術連合の研究活動成果をお知らせし、今後の活動にご活用いただけるものと存じ上げますので、是非、ご参加いただけると幸いです。

&lt;本件問い合わせ&gt;

一般社団法人Jミルク・乳の学術連合運営委員会事務局

「ジャパンミルクコンGRESS 2019」担当：林、大渊

☎ 03-6226-6352 ✉ s-obuchi@j-milk.jp

## ＜実施概要＞



1. 名 称: ジャパンミルクコンGRESS 2019 (JAPAN MILK CONGRESS 2019)
  2. 日 時: 2019年6月1日(土) 10:45~17:00(受付 10:00~) ※17:15~情報交換会
  3. 場 所: 東京大学・伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール、多目的ホール  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 伊藤国際学術研究センターB2
  4. 主 催: 乳の学術連合、一般社団法人Jミルク
  5. 主な参集範囲: 乳の学術連合会員、酪農乳業関係者、医師、栄養士、学校教職員、研究者、メディア・ジャーナリスト等
- プログラム: 「プログラム」をご参照ください。
  - お申し込み方法: 別紙『『ジャパンミルクコンGRESS 2019』参加申込書』をファックス(FAX 03-6226-6354)またはメールにてお申し込みください。
  - お申込み締め切り: **2019年5月20日(月)**
  - 参加定員: 300名(定員になり次第 締切)
  - 昼食について: 当日はランチョンセミナー時に弁当(無料※アレルギー対応不可)をご準備させていただきます。
- ※ランチョンセミナー会場以外の飲食は会場の都合上、禁止されていますのでご注意ください。

## ジャパンミルクコンGRESS 2019 プログラム

<i>time</i>	演題	<i>min</i>
10:45	開会、主催者挨拶	
11:00	<b>【特別講演】</b> 世界と日本の栄養問題とは～栄養 100 年の歴史とこれからの可能性を探る～（仮） 中村丁次・神奈川県立保健福祉大学長	60
12:00	休憩（昼食あり）	110
12:15	ランチョンセミナー	
12:45	ポスターセッション（15 研究発表予定）	
13:50	口頭発表①（牛乳乳製品健康科学部門） ●成田美紀・東京都健康長寿医療センター研究所研究員 「高齢者の牛乳・乳製品摂取及び食品摂取の多様性とフレイル・サルコペニアの予防に関する研究」 ●北濃成樹・公益財団法人明治安田生命厚生事業団体力医学研究所 「勤労者の快眠・就労支援を目的とした牛乳乳製品摂取と身体活動の在り方の研究:疫学的検討」 ●亀井明子・国立スポーツ科学センター前任研究員 「リオオリンピック・平昌冬季オリンピック選手を対象としたトップアスリートの牛乳・乳製品摂取状況と自覚症状を中心とした健康状態との関係」	75
15:05	休憩	25
15:30	口頭発表②（乳の社会文化部門、食と教育部門） ●福留奈美・お茶の水女子大学研究員 「牛乳・乳製品をあらわすことばの変遷-明治時代から平成時代の新聞広告を題材に-」 ●高橋雅延・聖心女子大学教授 「乳製品の好みの創出に及ぼす記憶の影響」 ●柴英里・高知大学講師 「行動変容モデルを活用した食育プログラム(仮)」	75
16:45	総括コメント	15
17:00	閉会（終了後、隣接ホールで情報交換会）	

### 12:45～ポスターセッション 17 題発表研究者・テーマ

<p>＜牛乳乳製品健康科学部門 11 題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 柳田紀之・国立病院機構相模原病院小児科医師「重症牛乳アレルギーに対する経口免疫療法ランダム化比較試験:Baked milk vs Raw milk」</li> <li>● 緒方・美佳国立病院機構熊本医療センター小児科医師「牛乳アレルギーを有する学童に対する骨密度測定およびカルシウム補充療法について」</li> <li>● 岡崎和伸・大阪市立大学都市健康・スポーツ研究センター准教授「運動後の乳清タンパク摂取による持続性トレーニング効果の促進-体温調節能・低酸素 EPO 分泌応答の亢進-」</li> <li>● 寺田新・東京大学大学院総合文化研究科准教授「運動後のグリコーゲン回復のための最適な牛乳の組成の検討-乳脂肪の濃度および粒子径に着目して-」</li> <li>● 浦島充佳・東京慈恵会医科大学教授「ミルクを使った食物アレルギー予防効果に関するランダム化臨床試験:食物アレルギー・アウトグロウのメカニズムに関する探索的研究」</li> <li>● 田中祥子・東京薬科大学助教「牛乳由来エクソソームによる小児アレルギー性疾患制御の可能性に関する検討」</li> <li>● 田中景子・愛媛大学大学院医学系研究科助教「妊娠中の母親の乳製品摂取と生まれた子の行動的問題との関連:九州・沖縄母子保健研究」</li> </ul>
---

- 橋本彩子・静岡県立大学助教「若年成人女性における牛乳乳製品の摂取状況と睡眠およびメンタルヘルスに関する多角的評価検証」
- 鎌尾まや・神戸薬科大学助手「牛乳および乳製品に含まれるビタミン D 活性代謝物の定量と 25-hydroxyvitaminD 摂取の有用性に関する研究」
- 吉村典子・東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター関節疾患総合研究講座特任准教授「牛乳乳製品による高齢者のサルコペニアの予防効果の解明：地域住民の 7 年間の追跡調査より」
- 山下智也・神戸大学医学部附属病院循環器内科准教授「乳製品の価値向上を目指した、腸内細菌を介して動脈硬化を改善するオリゴ糖の同定研究」

#### <乳の社会文化部門 3 題>

- 尾崎貴久子・防衛大学校准教授「中世期の地中海世界における乳製品利用に関する史的研究-中世イスラム医学と中世ラテン医学の食養生指南書を中心に-」
- 氏家清和・筑波大学大学院生命環境系准教授「飲用乳関連メディア情報による消費者便益への影響とその変化要因に関する定量的研究-スキャナーパネルデータによるアプローチ-」
- 太宰潮・福岡大学商学部准教授「牛乳におけるチャネル間価格探索行動と WEB 情報探索行動」

#### <食と教育部門 3 題>

- 三橋利晴・岡山大学病院新医療研究開発センター助教「乳製品関連ヘルスリテラシーへのインターネットを用いた e ラーニングによる教育効果；無作為化割付けによる検討」
- 池本真二・聖徳大学人間栄養学部教授「保護者の栄養知識が日本人中学生の習慣的な牛乳および栄養素摂取量に及ぼす影響」
- 多賀昌樹・学校法人和洋女子大学家政学群栄養学類准教授「『乳』を中心とした『科学実験と調理実習を組み合わせさせた食の健康教育プログラム』検証」

※上記の研究発表者・研究テーマは、平成 31 年 3 月現在予定です。

## 【会場アクセス】

### 伊藤国際学術研究センター（東京大学本郷キャンパス内）

本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩 8 分、本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩 6 分

※東大赤門付近

